



ライブラリー Live-Rally

運命をつなぐ物語3

PROLOGUE

都立図書館にやってきたあなた。隣に座っていてたまたま話した、
実習試験を受けに来たと言っていた大学生が、長い間戻ってこない…。
「自分が探していたものが見つかるが、失敗すれば戻ってこられなくなる」
という不思議な図書館「Live-Rally」の噂を思い出し、
心配になって探しに行くと、書架の間に本が落ちていて、
そこに挟まっていたらしい手紙を見つけた。

図書館 Live-Rally に来てくれて、この手紙を見つけてくれて、ありがとう。この
情報は、今、2040年から送っている。どうか、人命とデータを救い、2040年の科
学の未来を守るのに協力してほしい。

試験的に情報を送る。あと一時間以内に、設計図を見つけ、デジタル化してくれ!

先端イノベーションエリア事務局 遠野

INNOVATION TOWER

どうやら私は、不思議な図書館「Live-Rally」に迷い込んだようだ。

手紙によると…

2040年の未来では、東京ベイエリアは最先端技術の研究都市となっている。
今日は海中ミュージアムで世界中の科学者たちを集めた記念式典が行われていた。
しかし突然ミュージアムのシステムがジャックされて科学者たちが中に閉じ込められ、
海の森にある事務局に脅迫状が届いた。

「都立バーチャルライブラリのデータを全消去せよ。

従わなければ、海中ミュージアムを爆破する。」

救出チームがシステムの制御を取り戻そうと試みているが、難しい。

仕掛けられた爆弾を探そうにも、ミュージアムの設計図が

バーチャルライブラリに残っていないことが発覚した。

絶体絶命のその時、事務局の遠野が Live-Rally の噂を思い出し、

バーチャルライブラリの電腦空間に手紙のデータを投下した。

Live-Rally を通じて、設計図があるはずの 2020 年の都立図書館に繋がる奇跡を祈って…。

あなたは謎を解きあかし、
この物語の真実を導くことができるだろうか…

プロローグを読んだら、冊子を開いて謎を解こう!